

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 藤岡市立美九里東小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 375-0023

群馬県藤岡市本郷2067番地

E-mail mikurihigashi-es@fujioka-school.gunma.jp

Website http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1010006

幼児児童生徒数 男子 86名 女子 59名 合計 145名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「笑顔、やる気、元気」を学校理念として、ESDを「豊かな人間性を持ち、他人、社会、自然との関わりを尊重できる個人を育む教育」と捉え、ESDの実践を通して、他者を思いやり、自然や社会に対しての関わり方を考え、実行する力の育成を目標とした。

具体的には、環境教育、福祉教育を柱に、①地域の環境保全に係わる活動、②森林保護に係わる活動、③エネルギーに係わる学習、④高齢者福祉に係わる学習を行った。

### ① 地域の環境保全に係わる活動

本校校区内に流れる笹川(旧笹川)には、群馬県動物レッドリストで絶滅危惧1類(絶滅の危機に瀕している種)に指定されている「ヤリタナゴ」が県内で唯一生息している。この笹川の環境保全に取り組む「旧笹川をきれいにする会」の活動に協力する形で、5年生と6年生が川の清掃に取り組んだ。ヤリタナゴの生態や笹川の環境を守る意義について事前に学んだ後、「旧笹川をきれいにする会」の方々と一緒に笹川のゴミ拾いや草集めを行った。自分

たちの活動が、藤岡市指定の天然記念物である「ヤリタナゴ」を守ることや、蜚やメダカがすむきれいな川づくりにつながることを考えながら、子どもたちは額から汗を垂らしながら一生懸命に活動に取り組んだ。

## ② 森林保護に係わる教育

5年生が藤岡森林事務所や多野東部森林組合の協力を得て、森林保護と私たちの暮らしについて考える学習に取り組んだ。「森林のはたらき」や「なぜ、間伐をするのか」について学んだ後、近くの庚申山総合公園の森林の一角で、実際にのこぎりを使っての間伐に挑戦した。また、6年生は間伐材の有効活用を図るためのプランターカバーづくりに取り組んだ。

## ③ エネルギーに係わる学習

群馬県環境政策課より講師を招いて、環境保護について学習した。5年生は「家庭から出る水のごみを調べてみよう」、6年生は「発電から地球温暖化を考えよう」のテーマに取り組んだ。それぞれいくつかの実験を通して、家庭からの排水で川を汚さないための方法や、いくつかの発電方法を比較して二酸化炭素の排出が少ないエネルギーについて考えることができた。

## ④ 高齢者福祉に係わる学習

藤岡市社会福祉協議会の協力で「高齢者福祉体験」を行った。子どもたちは、体の動きや視野を制限してお年寄りの体の不自由さを体験する専用のキットを身につけ、介護をされる側とする側を交替で体験した。自分自身が体験することで「相手を理解する」ことや「相手を思いやる」ことの大切さに気づくことができた。



① 「ヤリタナゴ」を守れ！



② 間伐をやってみよう



③ いろいろな発電に挑戦



④ お年寄りってたいへん

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

小学校学習指導要領に則り、社会科、理科、総合的な学習の時間、道徳等関連する教科や領域の指導計画の中に、年間を通して適切に配置している。

特に、「活動ありき」とならないように「何のためにそのような活動を行うのか」について必ず事前の学習を行うとともに、体験の後に「自分たちとしては、普段どのようなことができるのか」ということを考える時間を、必ず設けている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

本校は1学年1学級のため、学年単位の活動は担任のみの活動になりやすい。活動そのものや外部講師との調整等について、なるべく学年外職員や管理職も関わりながら進めることや記録等を確実に引き継ぐことで、継続的に取り組める体制づくりを心掛けている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

行事・活動毎に係わった職員による評価、反省事項の確認（内部評価）や保護者、児童に対する「学校評価アンケート」（外部評価）を実施している。「学校行事などを通して、保護者や地域との連携に努めている」「道徳の時間や教育活動全体を通して、優しさや思いやりなど豊かな心を育てている」等の項目では、保護者の8割以上が「あてはまる」と回答している。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

校長による学校便り(保護者に配付のうえ地域に回覧)、各学年担任による学年便り、学校 Web ページ等で活動を紹介している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

- ・「旧笹川をきれいにする会」との協働
- ・藤岡森林事務所、多野東部森林組合、上野村森林組合との協働
- ・国土交通省高崎国道事務所との協働
- ・藤岡市ボランティアネットワークセンター「ウィズ」との協働

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

地域を知る活動（文化財、自然）、河川や森林の環境に関する活動、他者への理解やつながりを深める福祉教育等を関連づけ、地域の名を取って「みくり学」と名付け取り組んでいる。児童は、「みくり学」の活動を単に別個の活動ではなく、ESD として一体のものとしてとらえるようになってきている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

- ・ヤリタナゴの保護活動（ヤリタナゴの飼育、旧笹川の清掃活動：5・6年）
- ・国土交通省事業（「水辺の楽校」にて、地域を流れる神流川の水質調査：5・6年）
- ・林業体験（間伐体験：5年、間伐材木工工作：6年、椎茸駒打ち4年）
- ・エコムーブ号動く環境教室（県環境政策課の移動実験教室：5・6年）
- ・慰霊の杖メッセージ作成（日航機事故慰霊登山用の杖にメッセージを記入：5・6年）
- ・福祉体験（視野、体の動き等を制限する高齢者の疑似体験を通してお年寄りの大変さを実感：4年、県立藤岡特別支援学校との交流：5年、地域にある老人福祉施設への訪問：6年）
- ・相撲学習（校区内にある日本三大相撲辻の一つ土師神社について学び、体育及び課外活動として相撲の実技に取り組む：全学年）
- ・校内ESDパスポート活動（自主的なボランティア活動：全学年）